

堺市歴史的風致維持向上計画 2期計画 課題・方針整理表

2期計画における課題整理

1期計画の課題	(1)「歴史上価値の高い建造物等の保存・活用」に関する課題	(2)「歴史的建造物の周辺市街地の環境」に関する課題	(3)「伝統を反映した人々の活動」に関する課題	(4)「歴史・文化に対する市民意識」に関する課題
1期計画期間内での成果	<p>○百舌鳥古墳群では、樹木伐採などの環境整備を実施することで倒木等の墳丘が損傷するリスクを軽減した。</p> <p>○環濠都市区域の町家では、鉄砲鍛冶屋敷の修理、整備により歴史的風致形成建造物の保全・活用が図られたほか、まちなみ環境整備事業により町家等の修景整備が進んだことにより、歴史的なまちなみの再生が図られた。</p>	<p>○大仙公園などでの公園樹木の整理、剪定等により、古墳を認識しやすい環境が整備された。また、視点場の整備により巨大な古墳を一望する環境が創出された。</p> <p>○まちなみ環境整備事業により、歴史的な建造物が周辺の景観と調和するまちなみが創出されつつある。</p> <p>○阪堺線停留場の改修や沿道の整備、ザビエル公園の整備により紀州街道周辺の環境が改善された。</p>	<p>○町家歴史館での伝統産業の展示や体験、伝統産業会館での展示、体験、販売、伝統産業事業者に対する支援などにより、堺の伝統産業への関心が高まっている。</p> <p>○利晶の杜や大仙公園茶室での呈茶コーナーや、学校の授業での茶の湯体験など、市内各所で堺の茶の湯を身近に感じることができるよう環境が整った。</p> <p>○地域の民俗芸能・伝統行事の保存伝承事業で現在の活動の記録作成等を行うことにより伝統的な活動の伝承につながった。</p>	<p>○利晶の杜や百舌鳥古墳群ビジターセンターの整備により、歴史文化資源に対する理解と保全に対する意識醸成につながった。</p> <p>○世界遺産登録の前後で実施された各種イベント、講演会、情報発信等により、堺の歴史・文化に対する市民意識が大幅に高まった。</p>
1期計画を終えての課題	<p>○百舌鳥古墳群での史跡整備は、令和4年度に開始したばかりで、未整備の古墳が多く、本来の墳丘の状況が認識しづらい古墳が残されている。</p> <p>○今なお、歴史的な建造物の老朽化が進みつつあり、指定等の取り組みが求められる。</p>	<p>○古墳群として大小の古墳を一望できる施設がない。また、長塚古墳のように住宅地に囲まれ、古墳の形が認識しづらい環境が残されている。</p> <p>○歴史的建造物を中心とした、このエリアにふさわしい歴史的なまちなみの再生が求められる。</p>	<p>○人口減少や高齢化などにより、伝統産業、茶の湯、伝統文化等の継承にかかわる担い手不足は、今後さらに深刻になることが予想される。</p>	<p>○世界遺産登録が市民意識の高まりに寄与しているため、一時的なものとなり時間とともに下降する恐れがある。</p> <p>○堺固有の歴史的資源についての理解を深める情報発信や周遊のための取り組みが求められる。</p>

2期計画の方針

歴史的風致の維持及び向上に関する方針	(1)「歴史上価値の高い建造物等の保存・活用」に関する方針	(2)「歴史的建造物の周辺市街地の環境」に関する方針	(3)「伝統を反映した人々の活動」に関する方針	(4)「歴史・文化に対する市民意識」に関する方針
取り組み内容	<p>○百舌鳥古墳群については、史跡百舌鳥古墳群として、一体的な整備や修景、公開を行うことで、古墳に対する理解向上を図る。</p> <p>○文化財保護法等による指定や登録制度により保存措置が講じられている歴史的建造物については、持続的な維持管理を図りながら、活用に努める。</p> <p>○未指定の文化財についても、調査によりその価値を明らかにし、それらの建造物の情報を一元的に整理したうえで、文化財保護法に基づく保存等の措置や、その他施策による所有者及び管理者への様々な支援を検討する。</p>	<p>○古墳の周辺市街地においては、周遊により大型古墳の雄大なスケールを体感できていたことを踏まえ、古墳群を一望できるように取り組みのほか、古墳と調和し、また古墳への眺望に配慮した周辺市街地の景観の保全・創出を図る。</p> <p>○環濠都市では環濠等の文化資源を生かした都市魅力の向上に取り組む。さらに、町家が多く残る地域においては、核となる指定文化財等との調和、伝統行事や祭礼とあいまった歴史的風致の形成を図る。</p>	<p>○伝統産業の振興・継承にあたっては、消費者ニーズや市場環境の変化に対応した商品開発や販路開拓、情報発信の強化など、これらの複合的な展開を図る。また、伝統技能を継承し、業界の牽引役となる次世代人材の育成に対する支援を行う。</p> <p>○茶の湯が体験できる場と学ぶ場が連携した取り組みを進める</p> <p>○地域の祭礼行事の保全・継承にあたっては、祭礼行事が住民のコミュニティをつないできた求心力の源であることを十分に踏まえながらも、地域の要望に応じる形で、不足する祭礼行事の新たな担い手としての新規住民の参加、技術伝承のための記録作業などを進める。</p>	<p>○古くから受け継ぎ、洗練してきた堺の歴史・文化資源を大切に、さらに将来へと引き継ぐために、市民への情報発信、あるいは“堺で育まれてきた歴史・文化資源”に触れる機会の創出などについて、継続して取り組む。</p> <p>○伝統産業や茶の湯体験等の地域固有の歴史・文化資源について、来訪者が堺の歴史や文化に触れ、感じ、共感してもらえるよう、現存する資源を有効活用し、回遊性の向上に向けた環境整備を進める。</p> <p>○本市の歴史文化を学び、体験する機会の充実を図り、国内及び広く世界に歴史・文化資源に培われた堺の都市魅力を発信する。</p>